

新しい価値を提供する入力システム (Liquid Input Method Editor) の開発

—未知のコンテンツを受動的に提供するツール—

1. 背景

- IT の普及により、人々が PC を利用する時間は増えている。長時間に及ぶ作業は、PC 利用者の負担を強いるだけではなく、クリエイティブな活動をも阻害している。現在の PC 環境は無機質であり、このような環境は PC 利用者にとって快適とは言い難い。

- ネット上のコンテンツは常に増加を続けている。膨大なコンテンツの中から意味のあるものを取得するためには、PC 利用者が能動的に検索しなければならないが、検索する機会(検索回数)はコンテンツの増加に比例して増えるわけではない。この状況では、ネット上に公開されている良質なコンテンツが PC 利用者の目に触れることなく埋もれてしまっている。

2. 目的

上記背景にある問題を解決して、心地よい利用環境、良質なコンテンツの流通を目標とする。この目標を実現できるソフトウェアを開発する。概要を以下の図 1 に示す。

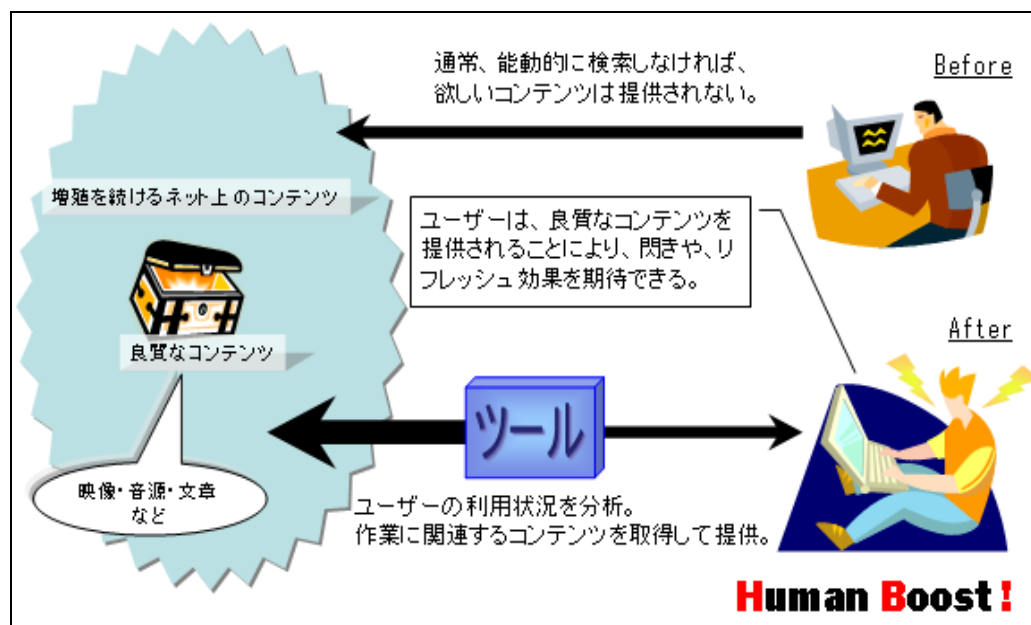


図 1

3. 開発の内容

本ソフトウェアは、クライアント側とサーバ側のソフトウェアに分かれる。クライアント側は Microsoft Windows 2000 以上の OS で動作する。サーバ側は Tomcat4 以上の環境で動かすことができる。

【クライアント機能 1】Message Interceptor

PC 利用者が入力した文字列をリアルタイムに取得する機能。また、ユーザインタフェースの動作に関する情報（ユーザが利用しているウィンドウの位置、マウス操作）を取得する。

【クライアント機能 2】Message Parser

コンテンツの検索に利用する文字列を取得する機能。この機能は、オープンソースの形態素解析エンジンである Mecab (<http://mecab.sourceforge.jp/>) を利用している。

【クライアント機能 3】Contents Searcher

Message Parser 機能がフィルタリングした文字列（＝キーワード）からコンテンツを検索する機能。HTML と JavaScript を使い実装している。利用者によるカスタマイズ・動的な書き換えが容易である。

【クライアント機能 4】Contents Supplier

取得したコンテンツを"さり気なく"提供する機能。コンテンツを取得する間隔、・透明度を変更する事ができる。また、多くの領域を利用しているコンテンツの表示部分は、マウスカーソルと重なるとウィンドウが縮小して、ウィンドウ下のボタン操作などに影響を与えない。この処理は簡単にオン・オフできる。また、デフォルトでこのウィンドウは固定表示されているが、表示タイプを切り替えることで、アクティブなウィンドウから動的に表示位置を決めることもできる。例を以下の図 2 に示す。

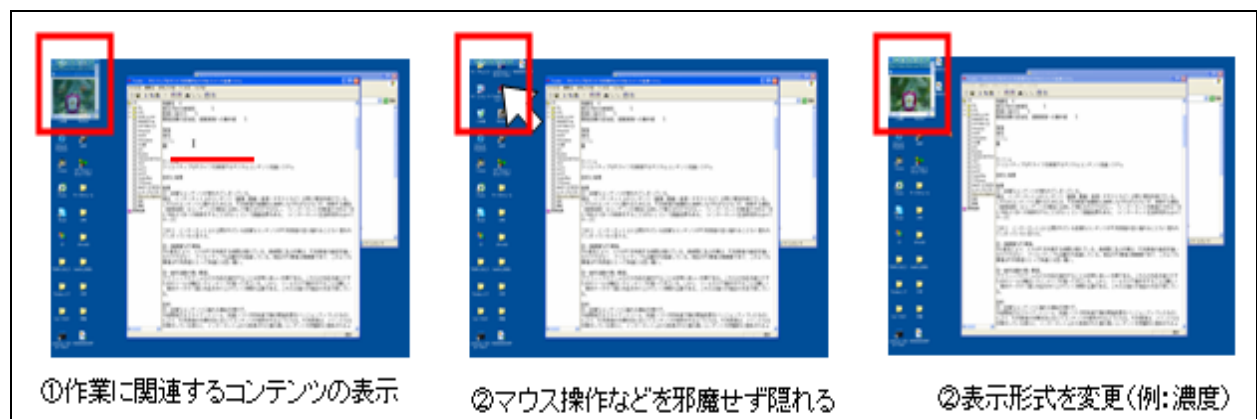


図 2

【サーバ機能 1】LIME サーバ

クライアントが表示したコンテンツを保存するスペースを提供する。共通・個人用のアカウントにコンテンツの URL とキーワードを保存することができる。また、アカウント発行やコンテンツ管理を行うことができる。サーバに登録されているコンテンツは外部からアクセスできる。例えば、ブログパーツとして画像を表示させることもできる。例を以下の図 3 に示す。



図 3

4．従来の技術（または機能）との相違

コンテンツを受動的に提供するソフトウェアは存在しているが、その多くは無作為にコンテンツを取得するものである。本ソフトウェアは、PC 利用者の入力情報と紐付けてコンテンツを検索することで、ある程度、関連したコンテンツを提供する事を可能となる。また、"さり気なく"コンテンツを提供するインターフェースを通して、主作業と並行してコンテンツの消費を行うことができる。

5．期待される効果

画像を中心として素材データを販売している企業に、新しい販売のチャネルを提供することができる。これまでは、利用者が自社のサイトから検索して購入する、パッケージ製品を購入するといったパターンであった。本ソフトウェア経由で、素材データを販売することができるようになる。ブロガーやライター、クリエイターなどは、本ソフトウェアを利用することで未知のコンテンツを目にする機会が増え、創作活動における素材のバリエーションが広がる。また、定期的に表示されるコンテンツが切り替わることで、リフレッシュ効果が期待できる。

6．普及（または活用）の見通し

現在、公開に向けて調整を実施している。（コンテンツを提供する企業との交渉を行うなどの計画もあり、展開の方針が定まっていないため。）一般に無償公開する計画はある。ブロガーやライターを中心のターゲットと考えている。なお、本ソフトウェアの主機能に関しては特許出願済である。

7．開発者名（所属）

高木 基成（株式会社サンモアテック）

永田 明（"）

小林 俊哉（"）

●問い合わせ先のメールアドレス

takagi（アットマーク）hb2.sakura.ne.jp

（アットマーク）を @ に置き換えてください。